

令和4年5月11日（水）に開催した令和4度第2回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

## 1 議案

### (1) 専任教員の募集について

#### ア 趣旨

事務局から、令和5年4月1日付け採用予定の専任教員6名の内、2名（4名は4月の役員会にて承認済み）の採用募集を行う旨説明があった。いずれも昨年度退職した教員の後任である。役員会の議決の後、公募を開始し、10月、11月の役員会で採用候補者の審議・決定を行う予定である。

#### イ 主な意見・質問

- ・大学院を担当する教員は何人ぐらいいるか。  
→文化政策研究科、デザイン研究科いずれも20名程度である。ただ、論文（含、修士制作）指導までする教員は文化政策研究科15名、デザイン研究科12名である。

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (2) 受託事業について

#### ア 趣旨

事務局から、袋井市教育委員会及び静岡県から業務委託の依頼があり、いずれもデザイン学部教員の監修のもと、学生に対する高い教育効果が期待できることから受託したい旨の説明があった。

#### イ 主な意見・質問

- ・社会的には情報環境学は重要であり、文部科学省の強い要請もある。将来的には専任教員を当てるべきである。

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (3) 受託事業について

#### ア 趣旨

事務局から、静岡県及び浜松市内の民間企業より業務委託の申し出があり、いずれもデザイン学部教員の監修のもと学生に対する高い教育効果が期待できることから受託したい旨の説明があった。

#### イ 主な意見・質問

- ・学生が提案したアイデアについて、知的財産としての取り扱いについて企業との間でされているのかも伺いたい。学生の権利意識も強くなっている。  
→ご指摘のあった問題は学部でも共有し、今後の受託事業契約に反映させる。

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

以上